

平成 28 年 8 月 3 日

神奈川県訪問看護ステーション連絡協議会
会長 清崎 由美子様

公益財団法人木村看護教育振興財団
代表理事 木村 憲司

当財団主宰 2016 年度東京講演会へのご案内

拝啓 時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より当財団の事業につきまして、ご理解とご協力を頂いており、厚く御礼申し上げます。

さて、当財団では、今年度も 11 月 5 日（土）に東京霞が関でメイヨークリニックのナースを迎えて、東京講演会（第 71 回講演会）を開催する運びとなりました。テーマは「地域医療構想を学ぶとともに地域における医療看護介護の推進に取り組む」です。

ご案内の通り、「地域医療構想」は 2025 年問題に対応する重要なツールとして地域医療介護総合確保推進法に位置づけられ、現在、全都道府県で策定が進められています。この構想ができると対象圏域の医療看護介護のあり方はそれに沿って再構築されます。そこで、今回、この構想について、膨大な医療情報を用いて描かれる地域の傷病構造の現在と将来の姿を見つつその重要性を学ぶとともに、地域の医療看護の充実をめざして急性期から慢性期・在宅領域まで行われている取組みを開き考え行動する機会としたいと思えます。

① 構成

東京講演会は 2 つの基調講演とパネルディスカッションからなります（別紙「概要」）。

基調講演の部の最初の講演は産業医科大学医学部の松田晋哉教授です。膨大なデータの活用による構想策定の進め方や策定に伴う課題に通じておられ、深い知見と豊富な経験を基にした話が期待されます。2 番目はメイヨークリニックの上級ナースからです。昨年度の東京講演会で同クリニックが隣接州まで展開している ICT を用いた医療看護ブース等が紹介されました。今回は、そのシステムについて更に詳しい話が予定されています。

パネルディスカッションは、聖路加国際大学大学院の山田雅子教授の進行の下、東京世田谷で在宅医療クリニックと一体で活動する桜新町アーバンクリニック ナースケア・ステーションの片山智栄所長、自院周辺の病院や診療所、訪問看護ステーション等と新たに協力関係を築き同時に院内の多職種連携も進めつながらる医療へ導いた経験を持つ東京慈恵会医科大学附属柏病院の柳澤美津代看護部長、名古屋市近郊の豊明市を中心に訪問看護を広域に

行うとともに、巨大団地に教員・学生が入居し「まちかど保健室」を行っている藤田保健衛生大学地域包括ケア中核センターの都築晃氏及び小島菜保子氏、そして、エビデンスを実践に繋ぐ方法等を研究・指導しているメイヨークリニックのCNSの登壇を予定しております。

② 日時及び場所

講演会 平成28年11月5日(土) 13時30分～17時30分
東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル灘尾ホール 03-3580-0988
パーティ 同上 18時～19時30分
霞が関3-2-5 霞が関ビル35階 東海大学校友会館望星の間 03-3581-0121

③ ご案内

万障お繰り合わせの上、本講演会にお出で下さるよう、ご案内申し上げます。
なお、講演会、パーティはいずれも無料となっております。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ですが、本講演会及びパーティについて現時点での参加のご意向についてお伺いしたく、同封している「2016年度東京講演会等への参加のご意向について」にご記入頂き、9月5日(月)までに当財団宛てにFAX又はメール・郵送にてご返信頂くようお願い申し上げます。

なお、複数参加や代理参加をご希望の場合も、同様にお知らせ下さいますようお願いいたします。

また、昨年度の東京講演会の講演録が出来ましたのでご高覧に供します。この講演会も地域における医療・看護の推進と看護教育をテーマとして開催しましたのでご参考になれば幸いです。

敬具

連絡先
公益財団法人木村看護教育振興財団
事務局次長 小澤卓矢
課長 小村志津乃・中川玲子
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14
TEL03-5800-2700 FAX03-5800-0022
E-Mail kimura-info@nurseed.jp

2016年度東京講演会の概要

日時 2016年11月5日(土) 13:30~17:30
 講演会会場 千代田区霞が関 新霞が関ビル 全社協・灘尾ホール(最大500名)
 パーティ会場 霞が関ビル35階 東海大学校友会館 望星の間(最大200名)

講演会	テーマ ねらい	「未来を拓く 看護の力」 ー地域医療構想を学ぶとともに地域における医療看護介護の推進に取り組むー ・今、すべての都道府県が2025年問題に備えて策定中の「地域医療構想」について学ぶとともに急性期、回復期、慢性期・在宅領域での取組みと新たな看護教育を考える。
	13:30~13:33 開会の辞 (総合司会)	北里大学病院 副院長・看護部長 別府千恵氏 (木村財団理事)
	13:35~13:40 挨拶	木村憲司 木村財団代表理事
	13:41~14:31 講演1	『地域医療構想をどう策定するか』 産業医科大学 医学部 公衆衛生学/産業保健データサイエンスセンター 松田晋哉 教授
	14:32~15:02 講演2	『Mayo Clinic Healthcare System: Past, Present and Future』 Ms. Liz A. Boldon, MSN, RN, Mayo Clinic
	15:02~15:20 休憩	
	15:20~17:25 パネルディスカッション	テーマ「地域医療・看護の充実に向けた取組みと看護教育を考える」(仮) ・急性期、回復期、慢性期・在宅領域のそれぞれにおいて活躍する医療・看護の実践者から取組みを語って頂くとともに、看護教育のあり方について意見交換を行う。 ファシリテーター 聖路加国際大学大学院看護学研究科教授 山田雅子氏 パネリスト1 桜新町アーバンクリニック ナースケア・ステーション所長 片山智栄氏 パネリスト2 東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部長 柳澤美津代氏 パネリスト3 藤田保健衛生大学 地域包括ケア中核センター 都築晃講師 同センター訪問看護ステーション 小島菜保子管理者・看護科長 パネリスト4 Ms. Sherry Wolf, MS, APRN, ACNS-BC, AOCNS, Mayo Clinic
	17:26~17:30 閉会の辞	木村財団理事 (予定)
パーティ	主宰者挨拶	木村憲司 木村財団代表理事
	挨拶1	公益社団法人日本看護協会 (予定)
	挨拶2	公益財団法人日本訪問看護財団 (予定)
	挨拶3	一般社団法人全国訪問看護事業協会 (予定)
	挨拶4	Ms. Liz A. Boldon, MSN, RN, Mayo Clinic (代表) (予定)
	乾杯	木村財団評議員 (予定)
	歓談	
	閉会の辞(中締め)	木村財団理事 (予定)

2016年度 東京講演会への参加のご意向について

●氏名 _____

●ご所属 _____

●お役職 _____

●ご所属先所在地 _____

●ご所属先電話番号 _____

●E-mail _____

●2016年度東京講演会について現時点での参加意向をお教え下さい。

該当するものに○印をお願いします。(複数回答可)

() 講演会・パーティとも参加する

() 講演会のみ参加する

() パーティのみ参加する

() 予定が定かではない ⇒ () 都合がつけば参加する () 参加しない

() 参加は難しい

() その他 【 _____ 】

●ご所属の他の方々の参加意向の有無(可能であればお名前とご所属もご記入下さい)

有 (人数 _____ 名) ・ 無

●氏名 _____

●ご所属 _____

以上

連絡先 公益財団法人木村看護教育振興財団
事務局次長 小澤卓矢 課長 小村志津乃・中川玲子
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-25-14 8階
TEL03-5800-2700 FAX03-5800-0022 E-Mail kimura-info@nurseed.jp